

希望溢れる東海創造委員会 委員長方針

東海地区は他の地区に比べて産業や自然にも恵まれ、中部国際空港第2ターミナルの開業や2027年開業予定のリニア中央新幹線など明るい話題が多い地区です。しかしながら少子高齢化が起因となる労働力の減少や経済規模の縮小などが予想され、南海トラフ地震などの災害が降りかかってくる可能性もあります。このような逆境を跳ね返すためには一人ひとりが地域に対して強い思いを持ち続けられる東海の創造が必要です。

まずは多くの人々が訪れ、安心して住み暮らす魅力的な地域を作るために、東海の未来について様々な人たちと一緒に考え、話し合う機会を提供します。そして各地域が持つまちの魅力を最大限に引き出すために横のつながりを作り、この地域を訪れていただく礎となりうる地域経済ビジョンの策定を日本J Cとともに進めて参ります。また、この地域は大震災発生が予想され、近年は台風や豪雨による風水害、土砂災害による被害が甚大化しています。安心して暮らすために必要な各地会員会議所の培ってきたつながりを生かした防災ネットワークが迅速かつ効果的に機能するように関係諸団体との連携を進めて参ります。そして防災についての意識を高め、備えることの重要性を理解していただく機会を提供し、自助・共助のための連携強化と各組織との質的改善を図り、保持するリソースや活動事例などの情報を共有・展開して参ります。また、今後も魅力溢れる地域を創造していく一員という当事者意識を持ち続けていただくために、地域の人たちを巻き込み、誰もが希望を描ける東海の未来を提案し、自分たちには無限の可能性と希望が満ち溢れていることを感じていただきます。

東海に住む人々が今後も安全安心に暮らし、希望を持ち続けるように、大きなイノベーションを起こすことで、自らの力で次代を切り拓いていける誰もが輝き希望溢れる東海の創造へとつながります。

<事業計画>

- ・事業名：地域経済ビジョンを策定・推進する事業

<SDGsゴール：8>

<SDGsターゲット：8.9>

東海地区内の連携を高め、各地域の特色を活かした来訪者を巻き込んだ発信の仕組みづくりを行います。

- ・事業名：地区・ブロック協議会・LOMの災害 支援ネットワークの構築

<SDGsゴール：11>

<SDGsターゲット：11. b>

身近に起こりうる災害に備え、防災・減災に対する事例を共有するとともに効果的なネットワークの活用方法を促します。

・事業名：希望溢れる東海の実現に向けた「フォーラム」

<SDGsゴール：11>

<SDGsターゲット：11. a>

一人ひとりが社会を考え、率先して一歩ふみだし行動していくことへの必要性を認識していただきます。